

品川区 青少年委員だより

発行 品川区子ども未来事業部 品川区青少年委員会

品川区青少年委員会は、地域の青少年の実態を把握し、青少年および青少年関係団体の育成の援助を行うことと並行して青少年委員会活動のPRを推進しています。

制度60周年とこれからの青少年委員に期待すること

子ども未来事業部長 金子正博



青少年を取り巻く環境は、携帯電話やインターネットの普及によって、バーチャル世界における新たな課題

が生まれてくるなど、大きく変化してきております。しかし、地域に根差した青少年育成活動をしている青少年委員の皆様への期待は、人間関係が希薄化した今日こそ、これまで以上の期待が寄せられております。

青少年委員は、教育委員会から子ども未来事業部所管となり、児童センターとの連携等積極的に活動範囲を広げてこられました。今年度、すまいるスクールを子ども未来事業部の所管へ移しましたので、更に広範な活動を展開されることを期待しております。

7年後、東京でオリンピック・パラリンピックが開催されます。今後、ボランティアの果たす役割が注目され、青少年と地域をつなぎ、活力溢れる地域社会の実現を目指す青少年委員の存在は、益々重要になると思います。

青少年は未来の希望です。青少年委員の皆様には、地域を超えての「オールしながわ」として健康に留意されるとともに、一層のご尽力をいただければ幸いです。



青少年委員制度制定60周年記念

青少年委員制度 60 周年記念事業実行委員会
実行委員長 永井惠一郎

11月30日スクエア荏原にて青少年委員制度60周年を記念して講演会、式典、祝賀会を催しました。

講演会の講師には品川生まれ、品川育ちの中国料理家菰田欣也様をお迎えし、楽しいお話を聞かせて頂きました。式典では品川区長濱野健様、品川区議会議長石田秀男様よりご祝辞をいただきました。祝賀会には68名の来賓をお迎えし、品川区長濱野健様、品川区議会議長石田秀男様、品川区町会連合会副会長千葉雅雄様よりご祝辞をいただき、品川区地区委員会連合会長市川信之助様の乾杯のご発声でにぎやかに始まりました。ステージでは、ろくさんバンド&菊地康正（サクソ奏者）の演奏と稲尾ひろみさんの歌唱によるアトラクションを好演いただきました。

任期を振り返るとともに次年度に向けて

品川区青少年委員長
有馬成美



今期の任期中の最大事業といえば、青少年委員制度60周年記念事業でした。新設された公共施設『スクエア荏原』で挙行した講演会・式典・祝賀会は、私共の日頃の感謝の意を表し、品川区長濱野健様を始めとした品川区青少年委員にゆかりのある関係各位、また、10年遡って青少年委員としてご活躍いただいた諸先輩方にご臨席を賜り、多面的なアドバイスと励ましをいただきました。「オールしながわ」の意識の下、活動してまいります。

今後も青少年委員は、青少年健全育成を目的に、地域の皆さまや児童センターと連携し区内全域で活動していきます。また、青少年委員会は、親と子と一緒に、そして、異年齢集団での活動をとおして、次代を担う青少年が、社会に貢献できる知識と行動力を備えられるよう、時代に即した事業を展開していきます。今後ともご理解ご協力のほどよろしくお願いたします。



区長揮毫による60周年記念手ぬぐいを前に

品川区助成事業

『ファミリー虫とり』 8月3日(土)4日(日)

晴天にめぐまれた両日、みなとが丘ふ頭公園において、日本昆虫協会講師のお話をうかがい、園内の沼地や森の中で、とんぼや蝶を追いかけ、ザリガニ釣りやゲームを楽しみました。

キャンプの申し込みをされていたファミリーは、飯ごう炊さんやナイトハイクを楽しみました。



ファミリーキャンプ (8月3日~4日)
: 14組、33名
ファミリー虫とり (8月3日)
: 53組、150名

参加者の声

- 直接、むし博士と話せたのが楽しかった。
- 飯ごう炊さんやテント泊の経験が親子にとって思い出深い出来事となった。

『イベント体験！お店やさんごっこ～親子でつくろう！遊ぼう！～』 11月3日(祝)

当日は、家族の絆、地域のつながりを深めるイベントとして、荏原町駅前緑道において模擬店(ポップコーン、わたあめ、クレープ、どら焼風、ソースせんべい、チョコバナナ)の店長や店員を体験しました。

たくさんのお客さんと一緒に工作コーナー(CDこま、くるくるオーロラ、バルーンアート、かさ袋ロケット)も楽しみ、延べ250名のお客さんとともにイベントを盛り上げました。



参加者の声。

- 工作がかんたんなので子どもも楽しめました。
- わたがしを初めてたべました。
- 色々体験でき良い思い出となりました。

平成25年度ジュニア・リーダー教室

開講式には70名の保護者の皆様の参列をいただき、1年間の活動についてのオリエンテーション、会場担当の青少年委員と事務局の紹介、品川区民の歌を合唱して終了致しました。



浅間台小学校での運動会

6月、7月の教室ではゲームやレクリエーションを通じて会場のみならず仲間になりました。

8月のサマーキャンプではテント泊、飯ごう炊さん等、野外活動を体験し、キャンプファイヤーをみんなでおおいに盛り上げました。

10月には浅間台小学校校庭を借りて手づくり運動会を行いました。運動会にも多くの保護者の皆様が応援に来ていただきました。

2月の冬合宿では日光だいや川公園で、ソリ遊びや雪上ゲームを楽しみました。3月の閉講式には多くの保護者の皆様の参列をいただき、1年間の教室の出席日数に応じてパーフェクト賞、グッド賞と全員に参加賞を配りました。

【サマーキャンプ】平成25年8月17日～20日 軽井沢レクの森キャンプ場



テントサイトでの飯ごう炊さん



キャンプファイヤー



童返しの滝へのハイキング

私は、今年小学生で最後のサマーキャンプを終えました。今年は水遊びがあったりハイキングの福笑いもありたりしてとっても楽しかったです。キャンプファイヤーでは、会場代表として話せたし自分にも自信がつかえました。ジュニア・リーダーは、とっても楽しいので、青ネッチでの活動も楽しみです。

南大井会場 六年生



しらかば広場にて

【冬合宿】平成26年2月22日～23日 栃木県日光市 光林荘・日光だいや川公園

ジュニア・リーダー教室は1泊2日で日光冬合宿に行きました。大雪の影響でスキー場での雪遊びを日光だいや川公園のちびっこ広場で雪遊びをおこないました。公園の雪も深くかまくらをつくったり、リーダーを雪にうずめたりして遊びました。夜の最大のお楽しみライトボンファイヤーは体育館になりましたが、リーダー・中高生のガンバリでレインボーライトを利用した幻想的なライトボンファイヤーを楽しみ、雪の中での花火もしました。お風呂に入った後で部屋での女子会、男子はまくら投げ?も大変盛り上がりました。2日目は、午前中体育館でのドッジボール、リーダーと中高生のすもう対決は小学生に大受けでした。

楽しかったこと色々

- 雪遊び、“ソリ”で遊んだこと、リーダーを雪に埋めたこと
- 中高生とのレクリエーション
- 光のボンファイヤー
- “かまくら”“ゆきだるま”を作ったこと
- 部屋でのおしゃべり



光林荘での花火とライトボンファイヤー



日光だいや川公園にて



日光だいや川公園での雪遊び

青少年委員会城南ブロック連絡協議会

11月9日渋谷区立長谷戸小学校にて、平成25年度研修大会が行われました。研修テーマは「模型飛行機を作って飛ばそう『夢は大空へ』（模型飛行機教室）」で講師の指導を受けながら飛行機を作る楽しみ、飛ばす夢をどのように子どもたちに伝えるかを体験しました。

東京都青少年委員会連合会

東京都青少年委員会連合会は、本年青少年委員制度60周年を迎えました。

平成26年2月16日練馬文化センターにおいて、「東京都青少年委員制度発足60周年記念大会」を開催しました。

本川達雄さんによる記念講演「良き人生の時間を生きること」、また「各地区の組織と運営」をテーマに、60周年記念誌を発行しました。

青少年育成者研修

今年度は、6月と10月に行われた青少年育成者に向けた実技講習会「キャンプソングを楽しむ」「折り紙ヒコーキ教室」に参加しました。

6月27日(木)荏原文化センターにて、“キャンプソングを楽しむ”実技講習会が行われました。キャンプファイヤーの際の構成など実際にそったものでとても勉強になりました。



10月31日(木)旗の台文化センターにて「折り紙ヒコーキ教室」が開催されました。JALの認定指導員から紙ヒコーキの上手な作り方、飛ばし方などの秘訣を教えてくださいました。つつい夢になってしまうあつという間の2時間でした。

児童センターとの連携事業

4年目となった連携活動は、当初の関わり方へのとまどいもなくなり、単なるお手伝いに留まらず、



旗の台児童センター「旗の台まつり」

より積極的に協力しあう姿勢が生まれつつあります。

事業への参画方法等、課題はまだありますが、連携事業は青少年委員のPRをはじめ、子ども及び親子や家族

環境の現状理解の一助となっています。

今後も双方の資質を生かした活動に期待を持って進めていきます。

後記

今回は青少年委員制度60周年という節目の年にあたり、広報活動を振り返る機会が多くなりました。

過去に比べると紙面は、モノクロからカラーになり、紙質も向上してより美しくなりました。

これからも紙面を『読むから見る』に視覚化して、皆様に見やすい構成を目指していきます。

広報研修部員 一同

